

単元の目標

- (1) 人間の尊重についての考え方や法の意義、法に基づく政治及び日本国憲法の基本的原則などについて理解するとともに、民主主義や人間の尊重についての考え方や法に関するさまざまな諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、個人の尊重や民主主義法の支配といった見方・考え方を生かしながら、多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 個人の尊重と日本国憲法について、現代社会にみられる課題や解決方法を考える活動を通して主体的に社会に関わろうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 私たちの生活と日本国憲法や政治との関わりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漫画「文化祭の出しものを決めよう！」を読む。 ★ 漫画を通して、私たちの生活と政治の「見方・考え方」をとらえよう。 ○ 学級全員で話し合ってよかったことについて話し合う。 ○ なぜ実行委員の意見というだけでは出しものが決まらなかったのかについて話し合う。 ○ 単元の学習問題をつかむ。 ● 私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのだろう。 <p>2 私たちにとっての政治と民主主義について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ なぜ政治は民主主義によって行わなければならないのだろう。 ○ 政治の働きについて調べる。 ○ 民主主義について調べる。 ○ よりよい民主政治のために必要なことについて考える。 ○ 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ■ なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのだろう。 <p>3 法に基づく政治と憲法について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ なぜ立憲主義による憲法は必要なのだろう。 ○ 法の構成と立憲主義について調べる。 ○ 個人の尊重と法の支配の必要性について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 38～39 ・ 前単元で学習した「対立」と「合意」や「効率」と「公正」の内容を振り返らせる。 ・ 本単元の見方・考え方の一つである「法の支配」と関連付ける。 ・ 教科書中から、見方・考え方に該当すると思われる言葉は何かを考えさせる。 【評】 憲法に学習について見通しを立てる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 教 P. 40～41 ・ 政治の決定の方法と、決定に際して守るべきルールを、民主主義に着目して追究させる。（対立と合意、民主主義） ・ 資料 1 を活用して、政治が無かった場合の生活への影響を具体的に考えさせることで、政治の働きについてつかませる。 ・ 資料 3 と資料 4 を比較させることで、権威が国民に由来し（国民主権）、国民の代表者がこれを行使（代議制）していることに気付かせる。 ・ 「アクティビティ」に取り組ませることで、個人の尊重や自由、少数意見の尊重といったことに配慮する必要があることに気付かせる。 【評】 民主主義について、政治の決定方法や決定に際して守るべきルールについて調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 教 P. 42～43 ・ 立憲主義の憲法について、個人の尊重と法の支配に着目して追究させる。（個人の尊重、法の支配） ・ 憲法は国の最高法規であることや、憲法に基づいて政治を行うことで、権力の濫用を防ぐ立憲主義の考え方を理解させる。 ・ 人の支配の問題点や法の支配によって個人が尊重され、基本的人権が保障されるようになることに気付かせる。

<p>○資料1にある「王様の政治」を防ぐためには、どのようなきまりをつくるとよいかについて話し合う。</p> <p>4 日本国憲法の制定と三つの基本原則について調べる。</p> <p>★日本国憲法はどのような歴史と特徴をもつ憲法なのだろう。</p> <p>○大日本帝国憲法と日本国憲法を比較して分かることを発表する。</p> <p>・大日本帝国憲法では天皇主権だったが、日本国憲法では国民主権に変わった。</p> <p>○戦後、なぜ大日本帝国憲法を改めたのかについて考える。</p> <p>5 日本国憲法と国民主権について考える。</p> <p>★国民主権とは、具体的にどのようなことを意味するのだろうか。</p> <p>○国民主権と国民の政治参加の方法について調べる。</p> <p>○なぜ憲法の改正には、厳格な手続きが必要なのかについて考える。</p> <p>○天皇の地位について調べる。</p> <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>6 人権思想のあゆみと日本国憲法について調べる。</p> <p>★人権の考え方は、どのようにして生まれ、発展してきたのだろうか。</p> <p>○人権思想のあゆみについて調べる。</p> <p>○日本国憲法の人権保障について調べる。</p> <p>○自由権、社会権、参政権とはどのような権利か説明する。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■人権の尊重とは、どういう考え方なのだろう。</p> <p>7 自由に生きる権利について調べる。</p> <p>★私たちが自由に生きるために、どのような権利が保障されているのだろうか。</p> <p>○生活の中にある「自由」について発表する。</p> <p>○自由権を「精神の自由」「生命・身体の自由」「経済活動の自由」の三つの分類に基づいて調べる。</p>	<p>・「個人の尊重と人権の保障」の面と、「権力の制限」の面から多面的に考えさせる。</p> <p>【評】立憲主義の憲法について個人の尊重と法の支配について調べる活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教P. 44～45</p> <p>・日本国憲法が、三つの基本原則を採用した経緯について、法の支配に着目して追究させる。（法の支配）</p> <p>・「アクティビティ」に取り組ませることで、日本国憲法の三つの基本原則に着目させながら、二つの憲法を比較させる。</p> <p>【評】日本国憲法の歴史と特色について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・歴史的分野での既習事項と関連付けて考えさせる。</p> <p>・教P. 46～47</p> <p>・国民主権について、民主主義と法の支配に着目して追究させる。</p> <p>（民主主義、法の支配）</p> <p>・生徒会活動の経験を振り返らせることで、議会制民主主義の仕組みを捉えさせる。</p> <p>・「アクティビティ」に取り組ませることで、総議員の3分の2以上の賛成や有効投票数の過半数の賛成などの具体的な数字に着目させ、憲法改正に関する手続きの厳格さに気付かせる。</p> <p>・天皇の発意による国事行為は認められていないことを確認する。</p> <p>【評】国民主権について、民主主義や法の支配に着目して適切に表現する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教P. 48～49</p> <p>・憲法と人権思想の発展を、個人の尊重に着目して追究させる。（個人の尊重）</p> <p>・資料1を活用して、時代が進むにつれて基本的人権が認められていったことを捉えさせる。</p> <p>・資料3を活用して、個人の尊重を基にしてすべての人権が成り立っていることを捉えさせる。</p> <p>・人が生まれながらに生じる平等な権利であることに気付かせ、三つの権利が「人類の多年にわたる努力の成果」であることを理解させる。</p> <p>【評】基本的人権の獲得と発展の歴史を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教P. 50～51</p> <p>・自由権の意義を、個人の尊重に着目して追究させる。（個人の尊重）</p> <p>・発表された「自由」を資料2と見比べて、自由が法律で定められていることを捉えさせる。</p> <p>・教科書P. 232～の巻末資料を使い、それぞれの権利の根拠となっている日本国憲法の条文についても確認させる。</p>
---	---

<p>○ 実例に基づいて、表現の自由について考える。</p> <p>8 等しく生きる権利について調べる。 ★現代社会に残る差別を無くすために、どのような努力がされているのだろう。 ○ 平等権について知り、部落差別問題について調べる。</p> <p>○ アイヌ民族への差別について調べる。</p> <p>○ 在日韓国・朝鮮人差別について調べる。</p> <p>9 共生社会を目指した取組について調べる。 ★私たちの社会は、平等に関する課題にどのように取り組んでいるのだろう。</p> <p>○ 男女が平等や性の多様性を認め合う社会をつくるための取組について調べる。</p> <p>○ 障がいのある人とともに生きる社会について調べる。</p> <p>○ 外国人とともに生きる社会について調べる。</p> <p>10 人間らしい生活を営む権利について考える。 ★社会権はなぜ重要なのだろう。また、社会権にはどのような権利があるのだろう。</p> <p>○ 人間らしく生きるために必要な権利について考える。</p> <p>○ 教育を受ける権利について調べる。</p> <p>○ 勤労に関する権利について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティビティ」に取り組ませることで、表現の自由が政治に与えた影響について考えさせる。 【評】自由権の内容が日本国憲法によって保障されていることを調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教 P. 52～53 ・部落差別や民族差別の問題を個人の尊重に着目して追究させる。（個人の尊重） ・資料 1～2 を活用し、部落差別や同和問題の解決について、日本はまだ道半ばであることを捉えさせる。 ・資料 4～5 を活用し、アイヌ民族に関わる活動が多様に行われていることを捉えさせる。 ・資料 6～7 を活用し、文化の多様性に対する取組について理解させる。 【評】差別をなくすために必要な取組を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・教 P. 54～55 ・性別の違い、障がいの有無、国籍の違いについて、個人の尊重に着目して追究させる。（個人の尊重） ・資料 2～4 を活用し、憲法で男女平等を規定しつつも、実態として日本はまだ道半ばであることを捉えさせる。 ・「アクティビティ」に取り組ませ、共生できる社会について考えさせる。 ・地理的分野の学習と関連付けさせる。愛知県は在留外国人数が多いため、外国人との共生は身近な問題であることを感じ取らせる。 【評】平等権に関する問題を解消するための取組について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教 P. 58～59 ・人間らしい生活を送るために必要なことは何か、個人の尊重に着目して追究させる。（個人の尊重） ・「アクティビティ」に取り組ませることで、憲法第 25 条で規定される「健康で文化的な最低限度の生活」とはどのようなものかを考えさせる。 ・教科書の裏表紙にある文章を確認させることで、自分たちも教育を受ける権利に基づき、無償で支給された教科書を使用していることに気付かせる。 ・教 P. 250 の労働基準法の条文に目を通させたり、愛知県の最低賃金（2024 年 10 月時点では 1,027 円）について知らせたりすることで将来働く時の労働条件に少しでも目が向くようにする。 【評】社会権の各権利についての内容や意義を理解する活動を通して、「知識・技能」を評価する。
---	--

<p>11 人権の保障を確実にするための権利について調べる。</p> <p>★なぜ参政権や請求権は、人権保障を実現する権利といわれるのだろう。</p> <p>○参政権について調べる。</p> <p>○請求権について調べる。</p> <p>○参政権と請求権が人権保障のために果たしている役割を説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 60～61 ・参政権と請求権の意義を、個人の尊重、民主主義に着目して追究させる。 (個人の尊重、民主主義) ・今までに学習した国民権や集会、結社、表現の自由とも関連させながら、基本的人権を保障するのに必要な権利であることを捉えさせる。 ・自由権や平等権は「国家からの自由」を保障する人権であるのに対して、請求権は人権の保障を実現するために、「国家の行為を請求する」権利であることを捉えさせる。 ・参政権については、政治に参加することがどのように人権を保障することにつながるのかを説明させる。また、請求権については、具体的にどのような場面で国に保障を求めることができるのかを説明させる。 【評】参政権や請求権の内容や意義について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
<p>12 社会の変化と人権保障について、情報化と人権の視点から考える。</p> <p>★情報化が進んだことで、どのような人権の保障が必要になるだろう。</p> <p>○知る権利について調べる。</p> <p>○プライバシーの権利について考える。</p> <p>○なぜ新しい人権が主張されるようになったのかをまとめ発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい人権は、科学技術の発展などの社会の変化に伴い、そのような状況の中でも個人の権利を尊重するために、憲法第 13 条の幸福追求権を根拠として主張されるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 62～63 ・知る権利とプライバシーの権利が大切な権利であることを、個人の尊重、民主主義に着目して追究させる。 (個人の尊重、民主主義) ・主権者である国民が、政治に対して正しい判断を行い、民主政治を成立させるために知る権利が大きな役割を果たしていることを捉えさせる。 ・「アクティビティ」に取り組ませたり、資料 6 について考えさせたりすることで、プライバシーの権利は社会政策や犯罪捜査、表現の自由などとしばしば対立を起こすことがあることに気付かせる。 ・根拠として、憲法第 13 条の幸福追求権があることや、科学技術の発展による社会の変化に対応する形で生まれたことを理解させる。 【評】新しい人権が主張されるようになった経緯について、多面的・多角的に考え表現する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
<p>13 社会の変化と人権保障について、科学技術と人権の視点から考える。</p> <p>★科学技術の発展は、私たちの人権にどのような変化をもたらしたのだろう。</p> <p>○環境権について調べる。</p> <p>○自己決定権について調べる。</p> <p>○科学技術の発展と人権保障の課題について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 66～67 ・環境権や自己決定権の意義を、個人の尊重に着目して追究させる。(個人の尊重) ・環境権が主張されるようになった経緯と、それに対する国の対策や取組をまとめさせる。 ・自己決定権が、医療の発達に伴うさまざまな治療方法の選択や生活スタイルの多様化によって新たに主張された人権であるということに気付かせる。 ・「公民+α」を活用し、A I 技術の内容にも触れ、科学技術が発展するメリットとデ

<p>14 国際的な人権の保障について調べる。</p> <p>★人権の国際的な保障が課題とされる中で、どのような取組がされているのだろう。</p> <p>○人権保障の国際的な広がりについて調べる。</p> <p>○児童労働や子ども兵士がなぜ問題となっているのかについて考える。</p> <p>○グローバル化と人権保障の関係について調べる。</p> <p>15 公共の福祉と国民の義務について考える。</p> <p>★自由や人権には、どのような責任があるだろう。また、国民の義務には何があるだろうか。</p> <p>○なぜ自由が制限される場合があるのかについて考える。</p> <p>○国民の義務について調べる。</p> <p>○人権が衝突した事例について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な景観を残すために、建物の修理が制限されていることが分かった。自分たちの住む地域でも、似たような事例がないか調べてみたい。 <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>16 日本国憲法の平和主義について考える。</p> <p>★憲法の定める平和主義とはどのような考え方のだろう。</p> <p>○日本国憲法の前文と憲法第9条について調べる。</p> <p>○自衛隊と自衛権について調べる。</p> <p>○日本国憲法は、どのような方法で平和を実現しようとしているのかについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の平和主義では、憲法第9条で戦争の放棄や戦力の不保持、国の交戦権を否定している。 <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■日本の平和主義は、どのように生かされていくべきなのだろう。</p> <p>17 日米安全保障条約と日本の国際貢献について調べる。</p> <p>★憲法の平和主義と、日本の安全保障との関係をどのように考えればよいだろう。</p>	<p>メリットに気付かせ、課題を意識させる。</p> <p>【評】新しい人権の意義や内容を調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 68～69 ・グローバル化した社会で起こる課題を、個人の尊重に着目して追究させる。 <p>(個人の尊重)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2を活用し、国際的な取り決めを行っても、すべての国が批准しているわけではないことに気付かせる。 ・個人の尊重の観点から考えさせる。その際、資料5の児童の権利条約の内容に着目させる。 ・社会の変化に伴い、国際的なルールや共通の意思をもつ必要性が生まれていることを捉えさせる。 <p>【評】国際的な人権保障がどのように展開されてきたのかを調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 70～71 ・人権が対立したときにどのように調整すればよいか、対立と合意、個人の尊重に着目して追究させる。 <p>(対立と合意、個人の尊重)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5を活用して、人権を守るために制限される自由があることを理解させる。 ・三大義務のうち、教育および勤労は国民の権利でもあり、国民の権利を守るための義務でもあることを捉えさせる。 ・資料1にある京都市の景観とまちづくりに関する事例を紹介し、生徒が住んでいる地域や周辺の地域で似たような事例について関心をもたせる。 <p>【評】自由や権利の限界、権利と義務の関係について調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 74～75 ・平和主義の意義を、個人の尊重と法の支配に着目して追究させる。 <p>(個人の尊重、法の支配)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 232 の前文の中から、平和主義に関する記述を探させる。また、憲法第9条については、資料2にある資料活用に取り組ませる。 ・資料6～9を提示し、自衛隊の存在についてさまざまな意見があることを捉えさせる。 ・戦争の放棄や戦力の不保持、国の交戦権を否定することで平和を実現しようとしてきたことに気付かせる。 <p>【評】日本国憲法が定める平和主義について、憲法の条文や資料を基に表現する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 76～77 ・日本の安全保障や世界平和の実現のための日本の活動について、個人の尊重と法の支
---	--

<p>○ 日米安全保障条約と日本の安全保障について調べる。</p> <p>○ 集団的自衛権と安全保障について考える。</p> <p>○ 自衛隊の国際貢献の様子について調べる。</p> <p>18 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>★単元のまとめをして、自分の考えを見直そう。</p> <p>○ 語句の意味を確認する。</p> <p>○ 単元の学習問題について自分の考えをまとめる。</p> <p>○ グループで意見交換をする。</p> <p>○ 学習を振り返る。</p>	<p>配に着目して追究させる。</p> <p>(個人の尊重、法の支配)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的分野や地理的分野の学習と「公民＋α」と関連付けて捉えさせる。 ・ 資料3を活用し、現在の憲法解釈では集団的自衛権が条件で認められていることを確認させる。 ・ 国際平和のために活躍する一方、外国の武力衝突に巻き込まれる可能性が示唆されるといった課題もあることをつかませる。 <p>【評】日米安全保障条約や集団的自衛権について調べ、日本の安全保障や国際貢献について表現する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 教P. 80～P. 81</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既習事項の知識について確認させ、整理させる。 ・ クラゲチャートを活用して、考えを整理させる。 ・ 級友の意見を参考に、自分の考えを見直すことで、考えを再構築させる。 <p>【評】単元の学習問題について振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	--

【 備 考 】